

第2節 情報発信や情報公開など

1 様々な広報活動

防衛省・自衛隊の活動は、国民一人一人の理解と支持があって初めて成り立つものであり、分かりやすい広報活動を積極的に行い、国民の信頼と協力を得ていくことが重要である。

内閣府の「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」(15(平成27)年1月調査)によれば、国内外に広がる自衛隊の活動に対し、国民からの期待と評価が高まっている。この結果を踏まえ、防衛省・自衛隊の実態がより理解されるように、今後も様々な広報活動に努めていく。

参照▶ 資料74(「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」抜粋)



車座ふるさとトーク(秋田県秋田市)において
地域住民と意見交換する熊田防衛大臣政務官

1 インターネット、パンフレットなど

防衛省・自衛隊は、公式ホームページ、動画配信やソーシャルネットワーキングサービス(SNS)など、インターネットを活用した広報に取り組んでいる。

また、パンフレット、広報ビデオ及び『まんがで読む防衛白書』などの作成、広報誌『MAMOR(マモル)』への編集協力、報道機関への取材協力など、正確な情報を、幅広く、適時に提供するよう努めている。

さらに、防衛省・自衛隊の取組について、国際社会の関心の高まりも踏まえ、英文広報パンフレット『Japan Defense Focus』を毎月発行し、諸外国の人々にも理解を得るための努力を行っている。このほか、海外メディアの取材機会の提供、防衛省ホームページの英文サイトの充実、英語版の防衛白書やパンフレット・広報ビデオの作成など、国際社会に向けて情報を発信するための取組も積極的に行っている。

2 イベント・広報施設など

防衛省・自衛隊では、自衛隊の現状を広く国民に紹介する活動を行っている。この活動には、陸



防衛省・自衛隊が編集を協力の広報誌『MAMOR(マモル)』

自の富士総合火力演習や海自の体験航海、空自の展示飛行や体験搭乗などがある。また、全国に所在する駐屯地や基地などでは、部隊の創立記念日などに、装備品の展示や部隊見学などを行うとともに、地元の協力を得て、市中でのパレードを行っている例もある。さらに、自衛隊記念日記念行事の一環として、自衛隊音楽まつりを日本武道館で毎年開催しており、15(同27)年は、延べ約4万人が来場した。

また、陸・海・空自が順番に主担当となって観閲式、観艦式、航空観閲式を行っており、15(同

解説

進化を続ける自衛隊音楽まつり

Column

毎年秋に開催している「自衛隊音楽まつり」は、今年で52回目を迎え、陸・海・空自衛隊の音楽隊などによるドリル演奏などを通じ、幅広い自衛隊の活動を紹介して、自衛隊に対する理解を深めてもらうことを目的としています。

「自衛隊音楽まつり」は、1963（昭和38）年に東京都体育館で産声を上げ、日本武道館で開催するようになったのは1973（同48）年からになります。また、外国ゲストバンドについては、昭和55年の在日米陸軍の初参加以来、様々な音楽隊等が参加し、自衛隊音楽まつりに華を添える、なくてはならない存在となっています。

昨年の自衛隊音楽まつりでは、戦後70年の節目として在日米軍4軍種（陸軍・海軍・空軍・海兵隊）の音楽隊等や、日韓国交正常化50周年の節目として韓国から海軍軍楽隊が参加し、日米韓が一堂に会することにより、「互いに手に手を取って前に進む」というメッセージを発信することができました。

自衛隊音楽まつりは、国内だけでなく、外国軍との防衛交流の場へとステージを広げています。「音楽」は世界共通語、この素晴らしい力で日本と世界の安定に大きく貢献できるよう、更に進化を続けて参ります。



平成27年度自衛隊音楽まつりの様子

27) 年は、海自が相模湾において観艦式を行い、5か国から艦艇6隻、また、米海兵隊のオスプレイを含む航空機も参加し、国際親善や防衛交流の維持・深化を図った。観艦式には、事前公開を含め約3万4000人が来場した。なお、16（同28）年は、観閲式を計画している。

広報施設の公開にも積極的に取り組んでおり、

市ヶ谷地区内の施設見学（市ヶ谷台ツアー）には、16（同28）年3月末現在までに約38万人の見学者が訪れている。また、各自衛隊は、駐屯地・基地の広報館や史料館の公開に加え、大規模広報施設を設けている。さらに、映画やTVの撮影協力を実施している。

解説

歴史的建造物の紹介（江田島）

Column

江田島は、1888（明治21）年に海軍兵学校が東京築地から移転して以来、世界三大兵学校の所在地として広く世界に知られました。終戦後10年間は当地を連合軍が使用しましたが、1956（昭和31）年に返還され、当時横須賀にあった術科学校が移転、16（平成28）年1月に60年を迎えました。現在は、幹部候補生学校、第1術科学校が置かれていますが、海軍兵学校の施設は今なお私たちの教育に活用されています。

1893（明治26）年竣工の海軍兵学校の生徒館は、通称「赤レンガ」と呼ばれ、幹部候補生学校庁舎として候補生教育に使用されています。1917（大正6）年竣工の大講堂は建坪500坪、収容人数2千人を誇る石造りの建物で、入校式や卒業式などに使用されています。この建物は音響に優れ、マイクは不要です。

1936（昭和11）年に竣工されたギリシャ神殿風の教育参考館は、先人の遺徳を^{しの}び、精神基盤の育成を目的として建設されました。今なお多くの海軍関係史料が展示され、海上自衛官の教育の場となっています。

このように、江田島は海軍兵学校時代の^{たたず}の佇まいを残し、海上自衛隊員の教育の場として受け継がれています。



赤レンガと大講堂



教育参考館

3 隊内生活体験

防衛省・自衛隊は、自衛隊生活体験ツアー¹や隊内生活体験²を行っている。これらは、自衛隊の生活や訓練を体験するとともに、隊員とじかに接することにより、自衛隊に対する理解を促進するものである。平成27年度は自衛隊生活体験ツアーに約140人が参加した。また、隊内生活体験には、企業などから約1,300件の依頼があり、約28,000人が参加した。



陸自善通寺駐屯地で行われた大学生等サマーツアーの様子

1 「大学生等を対象としたサマーツアー・スプリングツアー」、「パセリちゃんツアー」、「女性のための自衛隊1日見学」の公募を防衛省・自衛隊ホームページなどで行っている。

2 陸・海・空自の生活を体験するツアーであり、自衛隊地方協力本部が窓口となって、民間企業などからの依頼を受けて実施している。



海自横須賀地区で行われた大学生等スプリングツアーの様子



空自芦屋基地で行われた女性のための自衛隊1日見学の様子

2 情報公開などへの取組

1 情報公開制度・個人情報保護制度の適切な運用

防衛省では、「行政機関の保有する情報の公開に関する法律」に基づき、保有する行政文書の開示を行っている。また、「行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人の権利を保護するため、保有する個人情報の安全確保などの措置を講ずるとともに、保有個人情報の開示などを行っている。

参照 資料73（防衛省における情報公開の実績（平成27年度））

2 公益通報者保護制度の適切な運用

防衛省では、内部の職員などからの公益通報を処理する制度と外部の労働者からの公益通報を処理する制度を整備し、それぞれの窓口を設置して公益通報の処理及び公益通報者の保護などを行っている。

3 政策評価への取組

防衛省は、政策評価制度に基づき各種施策について評価を行っており、平成27年度には、防衛大綱及び中期防衛力整備計画の主要な政策のほか、研究開発や租税特別措置の政策評価を行った。

解説

オリンピックで活躍する自衛官



【自衛官アスリートの育成及び競技力向上】

世界トップクラスの競技力を有する高校生など、有望選手の獲得を推進するとともに、これまで重点的に選手を育成してきた9種目^(※)に加え、女子ラグビーやカヌーの選手育成・強化を実施し、16（平成28）年のリオデジャネイロオリンピック、20（同32）年の東京オリンピックに向け、自衛官アスリートの育成及び競技力向上を図っています。

（※）レスリング、ボクシング、柔道、射撃、ウエイトリフティング、アーチェリー、陸上、水泳、近代五種

【リオデジャネイロオリンピック出場に内定している自衛官】

- | | | | | | |
|------------|------|------|--------------|------|------|
| ① 近代五種 | 3等陸曹 | 三口智也 | ⑥ 水泳 | 2等陸曹 | 江原騎士 |
| ② 射撃（ライフル） | 3等陸佐 | 山下敏和 | ⑦ 陸上 | 3等陸尉 | 荒井広宙 |
| ③ 陸上 | 3等空尉 | 谷井孝行 | ⑧ 近代五種 | 3等陸曹 | 岩元勝平 |
| ④ 射撃（ピストル） | 3等空尉 | 森 栄太 | ⑨ ウエイトリフティング | 3等陸尉 | 高尾宏明 |
| ⑤ ボクシング | 2等陸尉 | 成松大介 | | | |



3等陸曹 三口智也



3等陸佐 山下敏和



3等空尉 谷井孝行



3等空尉 森 栄太



2等陸尉 成松大介



2等陸曹 江原騎士



3等陸尉 荒井広宙



3等陸曹 岩元勝平



3等陸尉 高尾宏明

【過去のオリンピックでのメダル獲得状況】

開催日	大会名	金メダル		銀メダル		銅メダル	
		種目	氏名	種目	氏名	種目	氏名
64年（昭和39年）	東京	ウエイトリフティング	三宅義信			マラソン	円谷幸吉
68年（同43年）	メキシコ	ウエイトリフティング	三宅義信				
		レスリング	金子正明				
		レスリング	中田茂男				
72年（同47年）	ミュンヘン			レスリング	平山紘一郎		
76年（同51年）	モントリオール					レスリング	平山紘一郎
84年（同59年）	ロサンゼルス	射撃（ピストル）	蒲池猛夫	レスリング	入江隆		
		レスリング	宮原厚次	レスリング	江藤正基		
88年（同63年）	ソウル			レスリング	宮原厚次		
92年（平成4年）	バルセロナ					射撃（ライフル）	木場良平
96年（同8年）	アトランタ						
00年（同12年）	シドニー						
04年（同16年）	アテネ					レスリング	井上譲二
08年（同20年）	北京						
12年（同24年）	ロンドン	レスリング	米満達弘			レスリング	湯本進一
		レスリング	小原白登美			ボクシング	清水聡
メダル獲得数計		8個		4個		6個	